

株主・投資家のみなさまへ

第119期 第2四半期ビジネスレポート

2020年4月1日～2020年9月30日

証券コード: 6516

<https://www.sanyodenki.co.jp>

SANYO DENKI

119th



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととおよろこび申しあげます。

第119期の第2四半期のビジネスレポートのお届けにあたりまして、ひとことごあいさつを申し上げます。

すでにご承知のとおり当社グループでは、2016年4月から5年間の中期経営計画に取り組んでおります。

今期が最終年度となるこの計画では、

- 1 品質・性能・信頼性において、「世界一の製品」を絶え間なく開発し続けること。
- 2 世界中のお客さまに、均一で高品質な製品やサービスを提供するために、すべてのグループ会社とその経営方針を同一にして「ボーダーレス」の営業体制にすること。
- 3 すべての情報の流れを「リアルタイム」にし、世界中どこからでも、企業活動に関わる現在のあらゆる状況を把握できるようにすること。
- 4 生産効率を高め、品質を向上させ、あわせて在庫の削減や生産管理に役立つ「工場の自動化」を構築すること。

を目指しており、そのすべてが、いよいよ仕上がりの段階を迎えました。

長野県上田市のテクノロジーセンターでは、事業の強化および設計・開発環境の向上を目的として、新棟を建

設中です。2021年5月の開業を目指し、工事は予定どおり進捗しています。

営業活動においては、新型コロナウイルス感染症対策の需要の高まりを背景に、医療分野を中心に新たな市場を開拓しました。当社の高品質な製品が検査装置や人工呼吸器へ採用され、世界中のお客さまの健康を守ること大きく貢献しました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の防止を目的としたフィリピン政府の休業命令により、2020年3月中旬から5月中旬までフィリピン工場の操業を停止しておりましたが、現在は生産活動を再開し、グループ全社で通常どおりに稼働いたしております。

新型コロナウイルス感染症の影響はいまだ継続しておりますが、当社グループの業績においては、通信機器向けや医療機器向けを中心に需要が増加し、結果は後述のとおりとなりました。当第2四半期末の配当金につきましては、1株あたり35円といたしました。

株主のみなさまには、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月
代表取締役会長 山本茂生



2020年6月より児玉展全が新たに社長に就任しました。
今後の取り組みやビジョンについて、当社会長の山本茂生が迫ります。

製品開発を磨き上げ、世界から評価される企業へ

山本 本日は6月に新社長に就任した児玉社長を迎えて、当社グループの今後の経営について伺いたいと思います。早速ですが、社長就任にあたって、これから特に力を入れていく取り組みについて教えてください。

児玉 一番は製品開発です。製品開発を今まで以上に充実させ、当社の柱として確立していくことです。

具体的には、製品開発のアウトプットを20%以上上げ、短期間により多くの結果を出すことを目指します。これは、設計開発部門だけでなく、営業部門・資材部門などあらゆる部門のアイデアを集結しておこなっていかねばいけないことです。当社グループ全体で一丸となって取り組んでいきます。

生産部門も、ここ数年工場の自動化にはかなり手を入れてきました。生産拠点のあり方について考えていくことも今後の大きなテーマのひとつです。

山本 今後、山洋電気グループをどのような企業集団にしていきたいと考えていますか。

児玉 当社は製品の良さを強みとしてもつ会社です。今後も高性能・高信頼・高品質の製品をお客さまに提供し、製品の良さで世界から認められる会社グループでありたいとの思いをもっています。当社グループがグローバル企業として、世界のトップブランドを構築する、この部分を変えることなく、製品の良さでもお客さまに評価される会社であり続けることを目指します。

山本 今後の成長がますます楽しみです。

Profile: 代表取締役社長 こだま のぶまさ 児玉 展全

1978年4月当社入社。クーリングシステム事業部・パワーシステム事業部・サーボシステム事業部の事業部長を歴任し、2014年4月に専務執行役員、2018年4月に代表取締役副社長に就任。2020年6月より現職の代表取締役社長に。



ひと目でわかる決算ハイライト

売上収益
33,817 百万円
前年同期は 34,338 百万円

営業利益
701 百万円
前年同期は△ 139 百万円

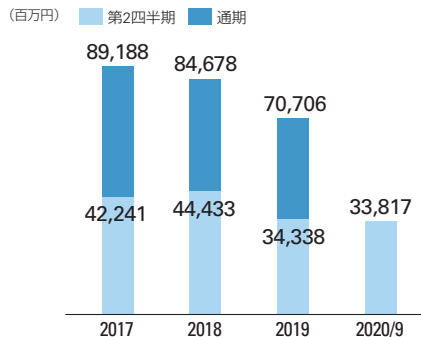
税引前四半期利益
605 百万円
前年同期は△ 247 百万円

親会社の所有者に帰属する四半期利益
391 百万円
前年同期は△ 491 百万円

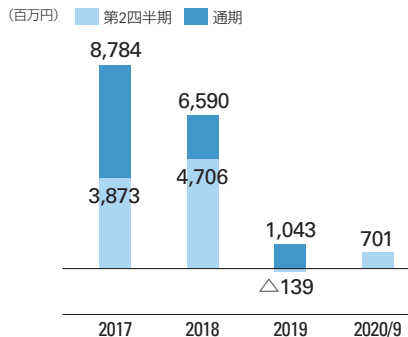
受注高
34,727 百万円
前年同期は 34,083 百万円

受注残高
17,817 百万円
前年同期は 15,347 百万円

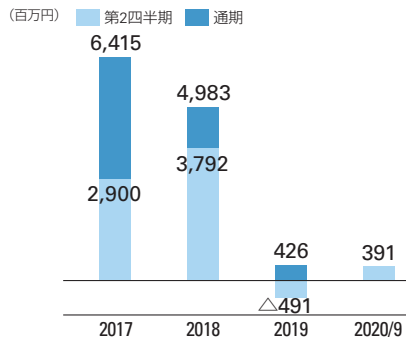
● 売上収益



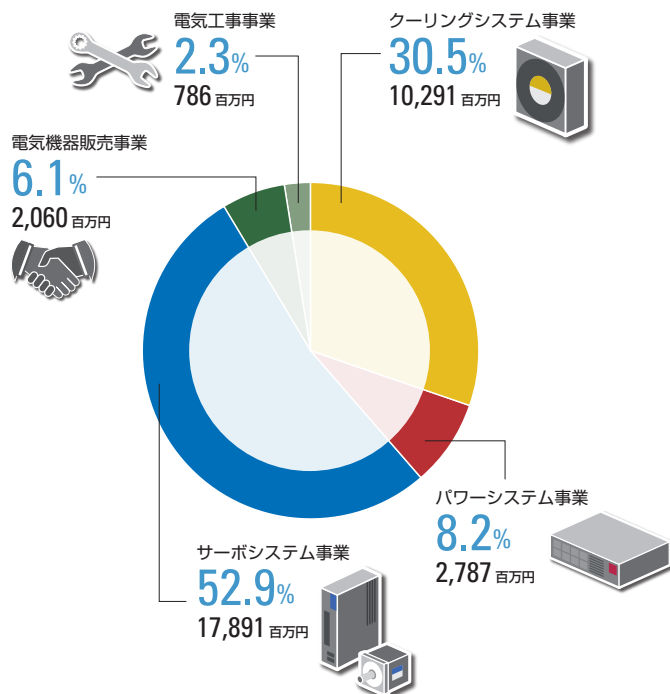
● 営業利益



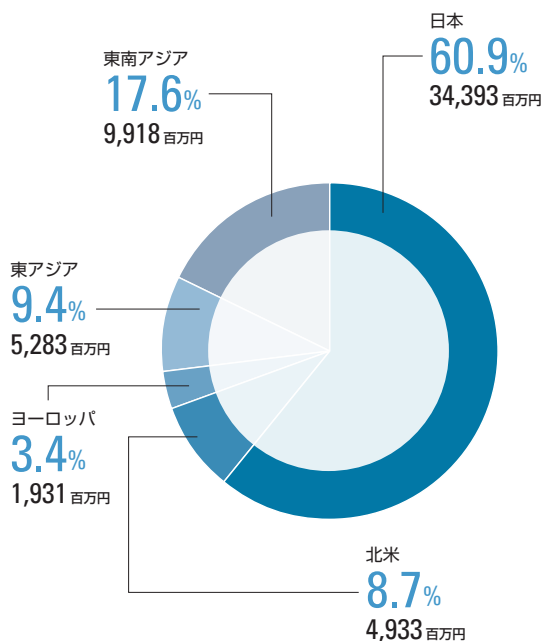
● 親会社の所有者に帰属する当期利益



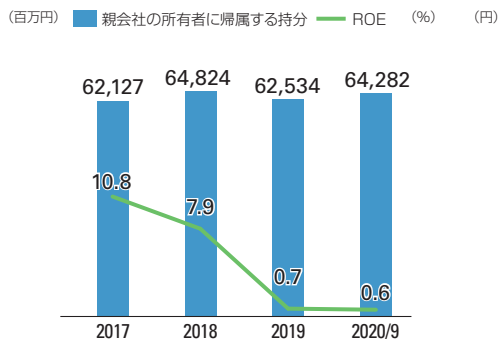
●事業別連結売上収益構成比



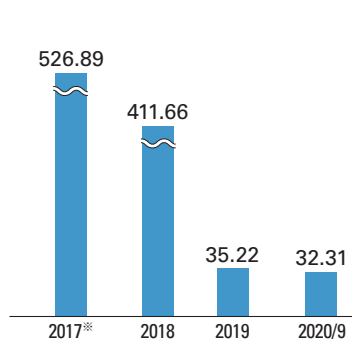
●セグメント別連結売上収益構成比



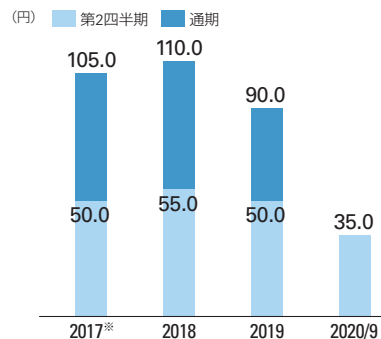
●親会社の所有者に帰属する持分／ROE



●基本的1株当たり当期利益



●1株当たり配当金



※ 2017年10月1日付で普通株式5株を1株に併合したことから、2017年度については、2017年度期首に株式併合がおこなわれたと仮定し算出しています。

社会の中の山洋電気

当社グループは、社会課題の解決に真摯に向き合い、これまでにない製品の開発や、サービスを提供していくことで、新たな価値の創出に取り組みます。

コンビニ

コンビニエンスストアでは、商品を温めたり冷やしたりする什器や、便利なサービスを提供するための機器の中に山洋電気の製品が使われています。



ATM



監視カメラ



保温ショーケース



電気自動車用急速充電器



食品工場

食品工場や半導体製造工場では、自動化を実現するための生産ラインにあるさまざまな装置や、工場全体の安定した電源供給のために山洋電気の製品が使われています。



充填機



パレタイジングロボット





半導体・
電子機器
製造工場

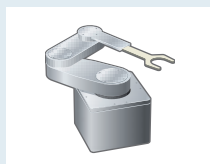
病院



電源室



洗浄機



搬送ロボット



チップマウンタ



病院では、医療現場で使われる検査・分析などの装置をはじめ、病棟で使用するさまざまな機器の中に山洋電気の製品が使われています。



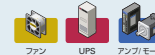
人工透析装置



血液分析装置



CT スキャン装置



第8次中期経営計画 (2016年4月～2021年3月)

2016年4月にスタートした第8次中期経営計画は、ついに最終の5年目を迎えました。この計画では3つの目標、すなわち「世界のトップブランドを構築する」「グローバル化」「変化を得意にする」を掲げています。そしてこれらの目標を実現するため、「世界一の製品」「ボーダーレス」「リアルタイム」「工場の自動化」を取り組みのテーマとし、グループ全体で794件の施策を立案しました。それらの施策も多くが完了し、計画の実現が近づいています。

世界一の製品

World-leading
Products



品質・性能・信頼性において、**世界一の製品**を絶え間なく開発し続ける

ボーダーレス

Borderless



世界中のどのお客さまにも、均一で高品質な製品とサービスを提供

リアルタイム

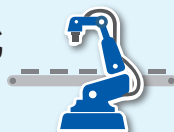
Real time



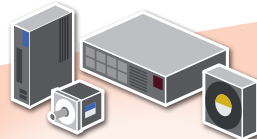
グループ内の情報をリアルタイムに把握・活用

工場の自動化

Factory
Automation



生産効率向上・品質向上・在庫削減、生産管理に役立つ“工場の自動化”を構築



新製品開発の加速

4年間で**62**件の新製品を発表

製品開発のグローバル化

フィリピンにも新たに
テクノロジーセンターを開設



ボーダーレスな営業活動

情報の**リアルタイム活用**で、
すべてのお客さまに最も適した
製品とサービスを提供

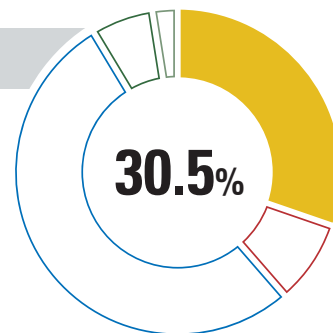
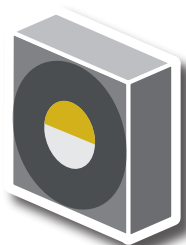
生産能力の拡大

工場の自動化は最終段階へ。
生産工数・リードタイム・
仕掛在庫を大きく削減



クーリングシステム事業

San Ace（サンエース）は、冷却ファン、ファンユニットなど、山洋電気のクーリングシステム製品を総称するブランドです。



San Ace

通信装置向けおよび医療機器向けの需要が活発でした。一方、サーバ、プリンターなどのオフィスオートメーション向けや太陽光発電装置向けの需要は低調でした。

その結果、売上収益は10,291百万円(前年同期比6.6%減)、受注高11,592百万円(前年同期比7.5%増)、受注残高5,977百万円(前年同期比54.9%増)となりました。

- | | | |
|------|-----------|-----------------|
| 主要製品 | ● DCファン | ● エアフローテスター |
| | ● 耐久ファン | ● PWMコントローラ |
| | ● ACファン | ● San Aceコントローラ |
| | ● ファンユニット | |

売上収益

10,291 百万円

受注高

11,592 百万円

受注残高

5,977 百万円

新製品

防水ファン

San Ace W 9WPAタイプ

保護等級IP68^{*1}の防水、防塵性能を持つ業界トップ^{*2}の高風量、高静圧を実現した防水ファン3機種を開発しました。厳しい環境下で高い信頼性を必要とする用途の冷却や送風に最適です。

※1 保護等級（IPコード）は、IEC（国際電気標準会議）60529で規定されています。

IP68：● 塵埃の侵入があっても構わない

● 潜水状態でも有害な影響を生じる水の侵入がないこと

※2 2020年12月現在。軸流DCファンとして。同サイズの場合。当社調べ。

用途 通信基地局、太陽光インバータ、デジタルサイネージなど



事業部門別の業績

新製品

二重反転ファン

San Ace 40 9CRJタイプ

業界トップ^{*1}の高静圧を実現した□40 × 56 mm厚の二重反転ファンです。
実装密度が高く、内部の空気が流れにくい装置を効率的に冷却できますので、
装置の小型化に貢献します。

※1 2020年12月現在。軸流DCファンとして。同サイズの場合。当社調べ。

用途 1Uサーバ、スイッチング電源、通信機など



新製品

高静圧ファン

San Ace 40 9HVAタイプ

業界トップ^{*1}の高静圧を実現した□40 × 28 mm厚の高静圧ファンです。
当社従来品□40 × 56 mm厚の二重反転ファン^{*2}を超える冷却性能があります。
ファンの寸法が小さくなることで、装置内の自由度が高まります。

※1 2020年12月現在。軸流DCファンとして。同サイズの場合。当社調べ。

※2 当社従来品は、二重反転ファン□40 × 56 mm厚「San Ace 40」9CRVタイプ（型番：9CRV0412P5J201）。

用途 1Uサーバ、スイッチング電源、通信機など



新製品

高静圧ファン

San Ace 80 9HVBタイプ

業界トップ^{*1}の高静圧、高風量を実現した□80 × 38 mm厚の高静圧ファンです。
実装密度が高く、内部の空気が流れにくい装置を効率的に冷却できますので、
装置の小型化に貢献します。

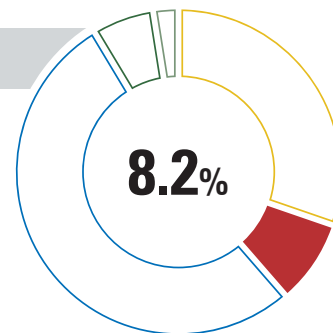
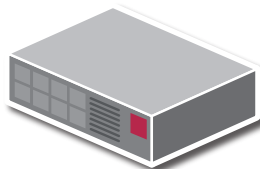
※1 2020年12月現在。軸流DCファンとして。同サイズの場合。当社調べ。

用途 サーバ、ストレージ、ルータ など



パワーシステム事業

SANUPS（サナップス）は、無停電電源装置（UPS）、インバータ、太陽光発電システム用パワーコンディショナなど、山洋電気のパワーシステム製品を総称するブランドです。



SANUPS

産業設備向けおよび情報通信向けなどを始め、一般的に需要が低調でした。

その結果、売上収益は2,787百万円(前年同期比10.0%減)、受注高3,202百万円(前年同期比23.1%減)、受注残高2,567百万円(前年同期比11.4%減)となりました。

- 主要製品**
- UPS（無停電電源装置）
 - インバータ
 - パワーコンディショナ
 - 無瞬断切換装置
 - グリッド管理装置
 - 防災用ディーゼル発電装置
 - 瞬時電圧低下補償装置
 - 移動電源車

売上収益

2,787 百万円

受注高

3,202 百万円

受注残高

2,567 百万円

新製品

ハイブリッド方式UPS SANUPS E11B

高品質な給電と省エネルギーを両立した、ハイブリッド方式UPS「SANUPS E11B」に出力容量3kVAを新たにラインアップしました。幅広い入力電圧範囲^{※1}により、入力電源の状況が不安定な場合でも、バッテリー運転への切換頻度を抑制し、バッテリーの消耗と劣化を防ぎます。使用温度範囲は-10～+55℃と幅広く、温度変化が大きい環境への設置など、設置場所の自由度が広がります。

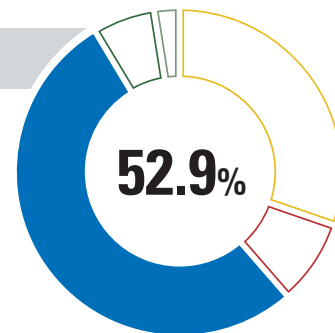
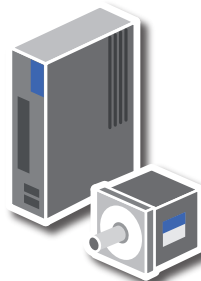
※1 入力電圧範囲は100V系タイプが55～150 V、200V系タイプは110～300 V、入力周波数範囲は40～120 Hzです。



用途 サーバ、通信機器、医療機器、工場内の設備など

サーボシステム事業

SANMOTION（サンモーション）は、サーボモータ・アンプ、ステッピングモータ・ドライバ、コントローラ、エンコーダなど、山洋電気のサーボシステム製品を総称するブランドです。



SANMOTION

5Gに向けた中国の通信機市場の需要増加を背景に、電子部品実装機向けおよび金属加工機向けの需要に回復傾向が見られました。一方、半導体製造装置向け、工作機械向けおよびロボット向けの需要は低調でした。

その結果、売上収益は17,891百万円(前年同期比9.6%増)、受注高17,198百万円(前年同期比14.1%増)、受注残高7,823百万円(前年同期比15.2%増)となりました。

- 主要製品**
- ACサーボシステム
 - ステッピングシステム
 - DCサーボシステム
 - モーションコントローラ
 - リニアサーボシステム

売上収益

17,891 百万円

受注高

17,198 百万円

受注残高

7,823 百万円

新製品

ACサーボアンプ SANMOTION R

業界最小^{*1}のAC400V入力多軸サーボアンプです。20kWから37kWの大容量サーボモータをなめらかに動作でき、お客さまの装置の加工時間短縮と生産性向上に貢献します。アンプやモータの稼働状況から、装置の故障を予測できるモニタリング機能を搭載しています。

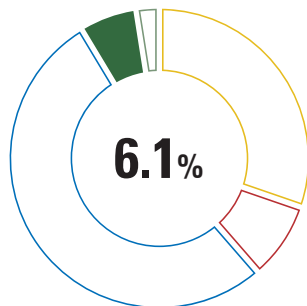
※1 2020年12月現在。当社調べ。

用途 射出成形機、工作機械など





電気機器販売事業



電気機器販売事業は、産業用電気機器、制御機器、電機材料などの販売をおこなう事業です。

産業用電気機器、制御機器、および電気材料の販売は、医療機器向けの需要を中心に堅調に推移しました。また、リチウムイオン電池を搭載した防災用の無停電電源装置の需要も堅調でした。しかしながら、昨年度まで活発であった太陽光発電事業の需要は激減しました。

その結果、売上収益は2,060百万円(前年同期比32.5%減)、受注高1,862百万円(前年同期比42.4%減)、受注残高655百万円(前年同期比38.0%減)となりました。

売上収益

2,060 百万円

受注高

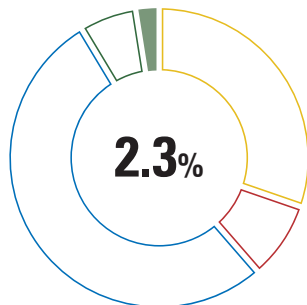
1,862 百万円

受注残高

655 百万円



電気工事事業



電気工事事業は、産業用コントロールシステムの設計、開発、施行、保全工事を提供する事業です。

電気工事事業は、鉄鋼市場の悪化により製鉄所向けの工事の需要が低調でした。また、製鉄所の設備投資の削減、および補修費用の削減による影響も受けました。

その結果、売上収益は786百万円(前年同期比8.1%減)、受注高871百万円(前年同期比5.9%増)、受注残高793百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

売上収益

786 百万円

受注高

871 百万円

受注残高

793 百万円

連結財務諸表

連結 財政状態計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当第2四半期末 2020年 9月30日現在	前年度末 2020年 3月31日現在	増減額
資産			
流動資産	64,934	61,915	3,019
非流動資産	43,984	44,188	△ 204
有形固定資産	25,306	25,994	△ 688
無形資産	4,837	4,931	△ 94
その他	13,841	13,263	578
資産合計	108,918	106,103	2,815

	当第2四半期末 2020年 9月30日現在	前年度末 2020年 3月31日現在	増減額
負債			
流動負債	31,561	28,181	3,380
非流動負債	13,066	15,380	△ 2,314
負債合計	44,628	43,562	1,066
資本			
親会社の所有者に帰属する持分合計	64,282	62,534	1,748
非支配持分	7	7	0
資本合計	64,290	62,541	1,749
負債及び資本合計	108,918	106,103	2,815

連結 第2四半期損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当第2四半期 2020年4月1日～ 2020年9月30日	前第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日	増減額
売上収益	33,817	34,338	△ 521
売上原価	27,052	27,830	△ 778
売上総利益	6,764	6,507	257
販売費及び一般管理費	6,220	6,720	△ 500
その他の収益	160	81	79
その他の費用	2	7	△ 5
営業利益又は損失（△）	701	△ 139	840
金融収益	112	137	△ 25
金融費用	209	245	△ 36
税引前四半期利益又は損失（△）	605	△ 247	852
法人所得税費用	214	243	△ 29
四半期利益又は損失（△）	390	△ 491	881
四半期利益の帰属			
親会社の所有者	391	△ 491	882
非支配持分	△ 0	0	△ 0
四半期利益又は損失（△）	390	△ 491	881

連結 第2四半期キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当第2四半期 2020年4月1日～ 2020年9月30日	前第2四半期 2019年4月1日～ 2019年9月30日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,925	4,912	△ 2,987
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,343	△ 3,117	774
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,433	427	3,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 67	△ 379	312
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,947	1,843	1,104
現金及び現金同等物の期首残高	13,642	11,693	1,949
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,590	13,536	3,054

株式情報／会社情報

株式総数および株主数

(2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	12,972,187株
当第2四半期末株主数	4,124名

大株主

(2020年9月30日現在)

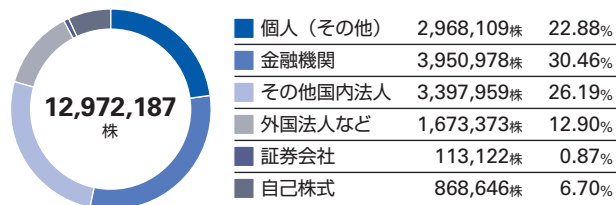
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
協同興業株式会社	1,845	15.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,031	8.52
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	837	6.92
山洋開発株式会社	318	2.63
日本生命保険相互会社	298	2.47
GOVERNMENT OF NORWAY	281	2.33
株式会社みずほ銀行	227	1.88
株式会社日本カストディ銀行 (信託口5)	200	1.66
株式会社八十二銀行	195	1.61
三井住友信託銀行株式会社	194	1.60

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 当社は自己株式868千株を所有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

所有者別株式分布状況

(2020年9月30日現在)



会社概要

(2020年9月30日現在)

会社名	山洋電気株式会社
創業	1927年8月
本社所在地	〒170-8451 東京都豊島区南大塚3-33-1 TEL 03-5927-1020
資本金	99億円
社員数	3,638名 (グループ全体)

主なグループ会社

(2020年9月30日現在)

日本	山洋工業株式会社 山洋電気テクノサービス株式会社
アジア	SANYO DENKI PHILIPPINES, INC. 中山市山洋电气有限公司 山洋電気 (上海) 貿易有限公司 上海山洋電気技術有限公司 山洋電気 (香港) 有限公司 山洋電気貿易 (深圳) 有限公司 山洋電気精密機器維修 (深圳) 有限公司 台灣山洋電気股份有限公司 山洋電気 (天津) 貿易有限公司 SANYO DENKI KOREA CO., LTD. SANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD. SANYO DENKI INDIA PRIVATE LIMITED
北アメリカ	SANYO DENKI AMERICA, INC.
ヨーロッパ	SANYO DENKI EUROPE S.A. SANYO DENKI GERMANY GmbH

取締役および監査役

(2020年9月30日現在)

※代表取締役	山本 茂生
※代表取締役	児玉 展全
※取締役	中山 千裕
※取締役	松本 吉正
※取締役	宮田 繁二郎
取締役	三宅 雄一郎
取締役	鈴木 徹
取締役	諏訪 宏
常勤監査役	畑中 佐近
常勤監査役	天野 文雄
常勤監査役	林 廣明
監査役	山本 武

※印の取締役は、執行役員を兼務

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年4月1日から起算し3ヶ月以内
期末配当受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当受領株主確定日	毎年9月30日
公告の方法	電子公告の方法によりおこないます。 (やむを得ない事由によって電子公告による 公告をすることができない場合は、日本経済 新聞に掲載しておこないます。)
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町1-2-4 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区日本橋茅場町1-2-4 日本証券代行株式会社 本店
お問合せ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉2-8-4 日本証券代行株式会社 代理人部 電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)

●各種手続のご連絡先

・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人へご連絡ください。

・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定など証券会社をご利用の株主さまは、お取引の証券会社へご連絡ください。

※証券会社をご利用でない株主さまへ

特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へご連絡ください。

特別口座での手続用紙のご請求はインターネットでも受け付けております。

ホームページアドレス

《日本証券代行》<https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

当社「IR情報」ホームページアドレス

<https://www.sanyodenki.co.jp/ir/index.html>

本ビジネスレポートには、業績予想などに関する記述が含まれておりますが、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

山洋電気株式会社

本社 〒170-8451 東京都豊島区南大塚3-33-1
電話 (03) 5927 1020
ホームページ <https://www.sanyodenki.co.jp>